

「気象注意報・警報・情報」

◆注意報・警報・とは

大雨などのときに発表される注意報や警報は、各地域の住民に注意を呼び掛け、災害による被害を最小限に食い止めることを目的としています。注意報は災害が起こる恐れがあるときに、警報は重大な災害が起こる恐れがあるときに発表されます。

◆気象情報とは

気象情報は、注意報や警報に先立って注意を促したり、注意報や警報が発表された後の補足や防災上の注意を解説する場合などに発表されます。

※注意報、警報が発表される基準は、地域により異なります。また同じ地域でも地理的特徴によって違いがあるため、気象情報に関心を持ち注意しましょう。

特に、日頃から自分の住む地域にどのような被害が出やすいのかを覚えておき、注意報、警報が発

表されたとき、素早く行動できるように心掛けましょう。

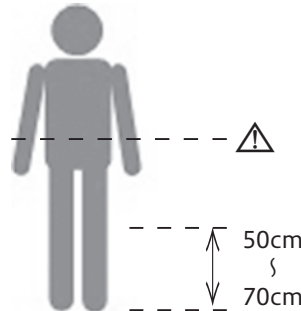
■気象注意報・警報・情報

	種類	発生の時期
注意報	風雪 乾燥 融雪 強風 高潮 大雨 波浪 大雪 着氷(雪) 洪水 濃霧 低温 浸水など	災害が起こる恐れがある場合
警報	暴風 波浪 暴風雪 洪水 大雨 浸水など	重大な災害が起こる恐れがある場合
情報	台風 長雨 低気圧 低温 大雨 日照不足など 大雪 少雨	注意報や警報などの内容などを補完する場合など

「洪水時の避難方法」

◆水位の確認を！

歩ける深さは男性で約70センチメートル、女性で約50センチメートルです。水深が腰までであるようなら無理は禁物です。高所で救援を待ちましょう。



◆足元に注意を！

はだし、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴を履き、長い棒をつえ代わりにして安全確認をしながら歩きましょう。



◆子供から目を離さない！

お互いの体をロープで結ぶなど、はぐれないように安全に避難しましょう。

◎「特別警報」

気象庁は、東日本大震災や平成23年に起きた紀伊半島豪雨における反省から、より災害の危険性を住民や自治体へ伝達できるよう、これまでの警報の発表基準を大きく超える被害をもたらす大雨や、地震・津波な

どの災害発生について、新たに「特別警報」を平成25年8月30日からスタートさせました。特別警報が発表された場合、その地域には数十年に一度の規模の災害が襲いかかることが予想されます。町の避難勧告などに従って直ちに命を守る行動をとりましょう。

■特別警報の発令基準

種類	基準
大雨 暴風 高潮 波浪 暴風雪 大雪	数十年に一度の規模が予想される場合
津波	高いところで3mを超える大津波が予想される場合
火山噴火	居住地に重大な被害を及ぼす噴火が予想される場合
地震(地震動)	震度6弱以上の地震が予想される場合

※「数十年に一度」の指標については、気象庁ウェブサイトを参照ください。

■小野町の警戒水位

河川名：右支夏井川

観測所：小野新町字光明院(赤沼橋付近)

計画高水位	水防活動状況など
1.80m	水防団待機
2.60m	氾濫注意
3.10m	避難判断水位

※台風や集中豪雨などで水量が増えている場合は危険を伴うので、水位の確認をしに河川に近づくなどの行動はやめましょう。